

内房線における『特別快速』の増発及び  
減便となった『特急列車』の復活について

## 要 望 書

平成27年3月

千葉県館山市

千葉県富津市

千葉県南房総市

千葉県安房郡鋸南町

## 内房線における『特別快速』の増発及び減便となった『特急列車』の復活について（要望）

日頃から千葉県南地域における公共交通維持のため、格別の御高配を賜り心から感謝申し上げます。

さて、平成27年3月14日のダイヤ改正で、内房線特急「さざなみ」については、運転本数の減、さらには運転区間の見直しにより、平日における館山～君津間での運転が取り止めになり、館山～東京間に総武快速線直通の『特別快速』が新設されたものの、沿線住民や観光客・ビジネス客にとりましては、内房線の利便性は大きく低下することになりました。

千葉県南地域では、平成19年の館山自動車道全線開通以来、アクアライン経由の高速バス利用者は増加し、特急「さざなみ」利用者は減少傾向にありました。

しかしながら、鉄道は、高速バスに比べ、大量輸送、定時性の確保、安全性や環境面などに優れた特徴を有し、通勤・通学をはじめ、地域住民の日常生活に欠くことのできない交通手段として、また、まちづくりや産業・観光の基盤として、重要な役割を果たしております。

今後、千葉県南地域といたしましても、鉄道の重要性を再認識し、利用者の増加に向け、より一層官民協働で積極的に取り組んでまいりますので、内房線の利便性確保に向け、朝の通勤・通学時間帯における千葉県南地域からの上り、夕方の帰宅時間帯における東京からの下りの『特別快速』の増発及び減便となった『特急列車』の復活について、特段の御配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成27年3月20日

東日本旅客鉄道株式会社

千葉支社長 石川 明彦 様

館山市長

金丸 謙

富津市長

佐久間 清 治

南房総市長

石井 裕

鋸南町長

白石 治 和

